

Numark

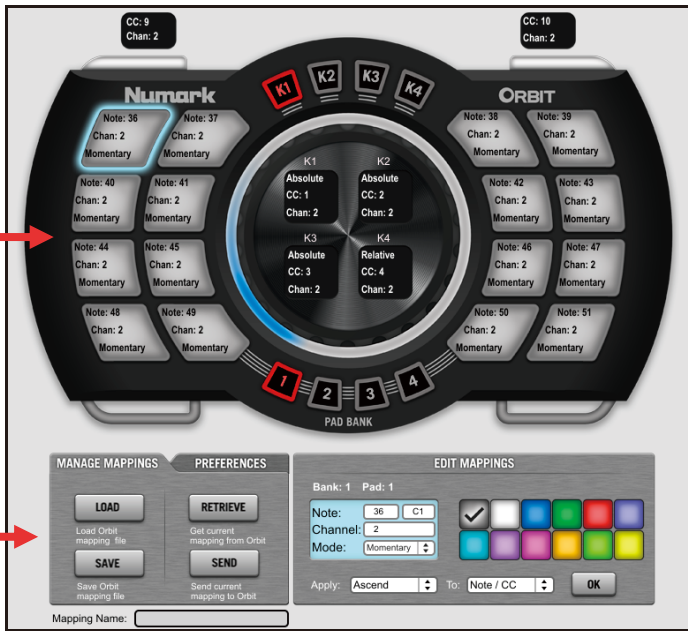
ORBIT
Editor

ユーザガイド

Numark

概要

グラフィック
インターフェイス



パネル

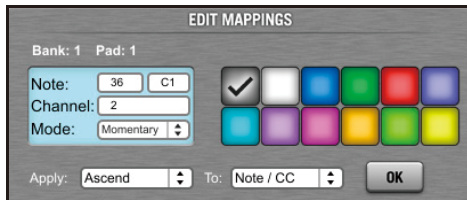
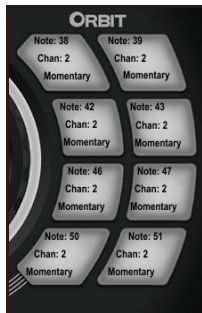
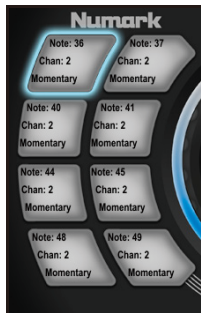
Orbit エディタは、実際の Orbit を模したわかりやすいデザインになっており、上段のグラフィック・インターフェイス部分では、設定した MIDI 情報が一覧できるようになっています。下段の「**MANAGE MAPPINGS**」、「**PREFERENCES**」、「**EDIT MAPPINGS**」の 3 つのパネルで、MIDI 設定や保存、読み込み、リセット…などを行います。

グラフィック・インターフェイス部

Orbit は、パッド、ホイール・ノブ、加速度センサと 3 タイプのエディット可能なコントローラを搭載しています。このセクションでは、それぞれのコントローラ部の設定をご説明します。

重要：パッドとホイール・ノブにはそれぞれ 4 つのバンクがあり、マッピングを編集する際、いまどのバンクが選択されているかを確認してから行ってください。バンクを切り替えるには、Orbit エディタのグラフィック・インターフェイス部のバンクセレクト・ボタンを押します。

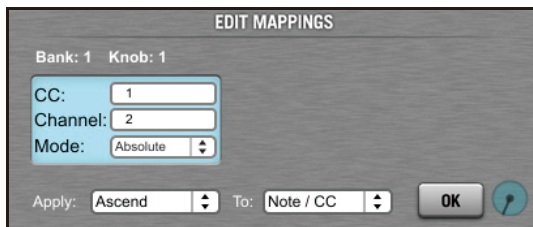
パッド



パッドに MIDI メッセージをアサインするには：

1. 編集したいパッドに該当するグラフィック・インターフェイス部のパッドをクリックして選択します。下段の「EDIT MAPPINGS」パネルに情報が表示されます。
2. MIDI ノートナンバを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Note」フィールドの数値または音階の欄をマウスで上下にドラッグするか、または直接数値を入力します。
3. MIDI チャンネルを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Channel」フィールドをクリックし、目的のチャンネル値を選択します。
4. パッドのモードを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Mode」フィールドをクリックし、目的のモードを選択します。
 - **Momentary (モーメンタリ・モード)**：このモードに設定されたパッドでは、パッドを押している間 MIDI メッセージを送信し続けます。パッドから指を離すと、送信を中止します。
 - **Toggle (トグル・モード)**：このモードに設定されたパッドでは、一度パッドを押すと MIDI メッセージを送信し、次に押されるまで送信し続け、もう一度パッドを押すと送信を中止します。
5. パッドの LED カラーを編集するには、右側のカラーパレットから一つをクリックし選択します。
6. 必要であれば上の 1～5 の手順を繰り返します。

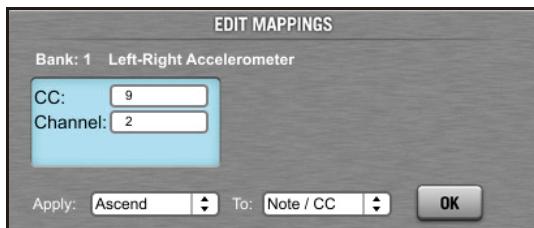
ホイール・ノブ (K1~K4)



ホイール・ノブに MIDI メッセージをアサインするには：

1. 編集したいノブ・バンクを、グラフィック・インターフェイス部のノブ・バンク・セレクト (K1~4) をクリックして選択します。下段の「EDIT MAPPINGS」パネルに情報が表示されます。
2. ノブ・バンクのコントロールチェンジ・ナンバ (CC) を編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「CC」フィールドの数値をマウスで上下にドラッグするか、または直接数値を入力します。
3. ノブ・バンクの MIDI チャンネルを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Channel」フィールドをクリックし、目的のチャンネル値を選択します。
4. ノブ・バンクのモードを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Mode」フィールドをクリックし、目的のモードを選択します。
 - **Absolute (アブソリュート・モード)**：このモードに設定されたホイール・ノブは、270°回転するノブとして働き、フィルタや EQ、エフェクト・パラメータなどをアサインするのに適しています。
 - **Relative (リレイティブ・モード)**：このモードに設定されたホイール・ノブは、360°回転するエンコーダとして働き、音楽ライブラリをスクロールしたり、擬似プラッタとして再生中のトラックのスクラッチやピッチバンドとしてアサインするのに適しています。
5. 必要であれば上の 1~4 の手順を繰り返します。

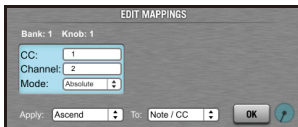
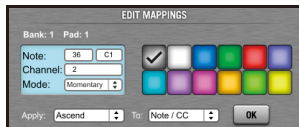
加速度センサ



加速度センサに MIDI メッセージをアサインするには：

1. グラフィック・インターフェイス部のショルダ・ボタンに該当する黒いボタンをクリックして選択します。下段の「EDIT MAPPINGS」パネルに情報が表示されます。選択した加速度センサが前後方向のものか左右方向のものかも、ここに表示されます。
2. 加速度センサのコントロールチェンジ・ナンバ（CC）を編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「CC」フィールドの数値をマウスで上下にドラッグするか、または直接数値を入力します。
3. 加速度センサの MIDI チャンネルを編集するには、「EDIT MAPPINGS」パネル内の「Channel」フィールドをクリックし、目的のチャンネル値を選択します。
4. 必要であれば上の 1～3 の手順を繰り返します。

EDIT MAPPINGS パネル



既述のように、各パッドやホイール・ノブ、加速度センサなどのマッピング情報を表示したりそれらを設定したりするパネルですが、その他の「オートフィル」機能をここでご説明します。

AUTO FILL

パネル下段の AUTO FILL では、次の二通りの設定が行えます。

- 同一バンク内のパッド、またはノブ・バンク、ふたつの加速度センサに対して、同じコントロールチェンジ・ナンバ (CC) や同じ MIDI チャンネルを割り当てることができます。

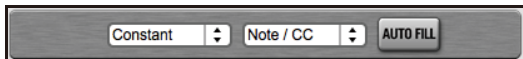
例えば：

- 16 パッドのすべてに同じ MIDI チャンネルを割り当てたい。
- パッド 8～16 に同じ MIDI ノートナンバを割り当てたい。
- すべてのノブ・バンクに同じコントロールチェンジ・ナンバ (CC) を割り当てたい。

- 同一バンク内のパッド、またはノブ・バンク、ふたつの加速度センサに対して、コントロールチェンジ・ナンバ (CC) や MIDI チャンネルを順次増加して (連続値を) 割り当てます。

例えば：

- パッド 1 にノートナンバ 48 を、パッド 2 にノートナンバ 49 を、パッド 3 にノートナンバ 50 をそれぞれ割り当てたい。
- ノブ・バンク (K1～4) に、順にコントロールチェンジ・ナンバ (CC) の 10、11、12、13 とそれぞれ割り当てたい。



コントロール・グループに同じ値を割り当てるには：

1. 割り当てたいグループの一番若い番号のパッドやノブ・バンク、加速度センサをクリックして選択します。
例えば、パッド 8～16 に割り当てたい場合は、パッド 8 をクリックします。
2. AUTO FILL の左側の選択肢から「**Constant**」を選びます。
3. その右の選択肢から、設定したい MIDI メッセージ（**Note/CC** または **Chan[nel]**）を選びます。
4. 「**AUTO FILL**」 ボタンを押します。



コントロール・グループに連続値を割り当てるには：

1. 割り当てたいグループの一番若い番号のパッドやノブ・バンク、加速度センサをクリックして選択します。
例えば、パッド 8～16 に割り当てたい場合は、パッド 8 をクリックします。
2. AUTO FILL の左側の選択肢から「**Ascend**」を選びます。
3. その右の選択肢から、設定したい MIDI メッセージ（**Note/CC** または **Chan[nel]**）を選びます。
4. 「**AUTO FILL**」 ボタンを押します。

MANAGE MAPPINGS パネル

このパネルの 4 つのボタンで、マッピング全体の管理を行います。



LOAD : 前回保存したマッピング・ファイル（拡張子「.json」）を読み込みます。



SAVE : いま編集した状態をマッピング・ファイル（拡張子「.json」）として保存します。



RETRIEVE : 接続されている Orbit 本体から現在のマッピングの状況を読み込みます。



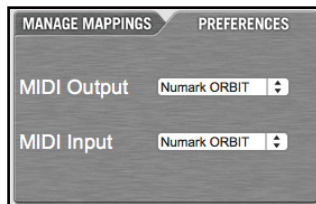
SEND : いま編集した状態を接続されている Orbit 本体に送信します。



PREFERENCES パネル

Orbit が接続されている MIDI ポートを選択します。通常は INPUT も OUTPUT も「**Numark ORBIT**」を選択します。

お使いのコンピュータの OS によっては、ここが「**Numark ORBIT**」ではなく「**USB Audio Device**」などと表示されることがあります。



その他の情報エリア

Mapping Name:

Mapping sent successfully.

画面の最下段左側には、いま編集したマッピングに名前を付けられます（「DJ Set 04-04-2013」や「テクノマッピング 01」など）。これはマッピング・ファイル名とは異なります。

また、その右側のエリアには、エディタソフトの動作における確認情報やエラーメッセージなどが表示されます。

numark.jp

Manual Version 1.0